

事業構想提案書概要図

資料12

事業タイトル	違いを力に。デジタル × グローカル人材 雇用共創プロジェクト				
人口(※1)	124,962人	人口減少率(※2)	3.13%	高齢化率(※1)	32.22%

※1: R6.1.1時点

※2: (H31.1.1の人口 - R6.1.1の人口) / H31.1.1の人口。なお、全国平均は2.01%



令和7年10月30日
飯塚市中小企業振興
円卓会議

地域の現状・課題

- 市内事業所の課題は、人材の確保・育成が最も多いが、原材料価格の高騰や資金調達を課題とする事業所の割合も高い（課題の多様化傾向）
- 新型コロナウイルス感染症に係る融資の返済が本格化する中、人材の確保育成とともに事業の維持・拡大、物価高対策の相談が増加
- 第2次産業の付加価値額は全国的に低い水準
- 就業者割合の高い医療・福祉は労働生産性が著しく低い
- 人口減少・高齢化が進行する中、令和2年の労働力人口は平成27年と比較し、▲1,187人減少
- 第2期事業についてデジタルを手法とした具体的な事業目的の設定が不十分

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

- 製造業、福祉、卸売・小売業

- 生産性向上・事業創出講習会
- ICTを活用した情報発信力向上講習会
- DX推進人材育成講習会
- 女性活躍等×健康経営講習会

《伴走型支援》

- 課題解決手法の習得における伴走型支援及び好事例・ノウハウの展開

事業の全体像

企業誘致や産学官の連携のもと、多様化する事業所の課題解決のためにデジタル化による事業所の魅力向上・事業拡大及び多様な人材が活躍できる職場環境づくりを進めるとともに、デジタルを用いて課題解決を図るグローカル人材の育成に取り組み、就職促進を図る。これらの取組において地域の経済団体、就労支援機関等との連携を強化し、地域経済の好循環と多様な人材が活躍できる雇用環境づくりを進め、地域が描く将来像である「働く場所をつくり、住む場所、学ぶ場所として選ばれる飯塚市」の実現を雇用面で担う。

具体的な取組内容

マッチング！

C 就職促進の取組

- 情報発信事業（WEBページ、SNS活用）
- DX×グローカル人材共創マッチング事業
- DX×ダイバーシティ推進 合同会社面談会
- オンライン合同プレゼン会 等

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

- 若者、女性、就職氷河期世代をはじめ40～50歳代求職者、UIJターン就職希望者

- 課題解決型Webデザイン講習会
- キャリアデザイン講習会
- 【子育て女性／就職氷河期世代】
- デザイン思考習得講習会

雇用創出（目標数(3年度計)）

280人

労働局・ハローワーク
<連携できる主な支援>
・職業相談、職業紹介
・職業訓練
・雇用・労働関係助成金

経済産業局
<連携できる主な支援>
・小規模事業者持続化補助金
・中小企業支援事業補助金 等

大学
<連携できる支援>
デジタル人材育成等
経済団体
<連携できる主な支援>
・経営・創業支援

市役所
<連携できる主な支援>
・企業立地促進補助金
・デジタル人材育成事業
・起業家育成事業
・販路開拓支援事業等